

風の子通信

2025年度1版

2025年7月



今年はだいぶ早く季節が変わり、体調管理が大変ですね。みなさんお元気でいらっしゃいますか？

2025年度のNPO法人定時総会を5月25日(日)に行い、2025年度の事業を開始しています。

令和7年3月末をもって、児童デイサービス風の子を終了しました。今後、相談支援事業所風の翼を中心に事業を進めていく方向で、人員配置も変更しています。

今年度事業としては令和7年6月7日(土)に会員限定のリラクゼーション講座、令和7年7月11日(金)に第8回ワークショップを実施しました。



第1回 リラクゼーション講座

毎年好評をいただいております、仲主静子先生のリラクゼーション講座が令和7年6月7日(土)から始まりました。今年度は、8月30日(土)、11月15日(土)、令和8年1月16日(金)、2月21日(土)の5回講座となります。

仲主先生は、タクティールケアの認定資格をお取りになり、正式に指導者となられてご指導いただいております。

タクティールケアを行なっている研究所のホームページには、発達障害を中心とした小児疾病症状の緩和に関する研究もあるようです。

今後も、健康体操を基礎としたリラクゼーション体操とともに、看護分野を中心として発展してきているタクティールケアに関しても一緒に勉強させていただくことを計画しています。



第8回ワークショップ開催

一障がい者が犯罪被害者、加害者に

ならないためのリスク回避について

令和7年7月11日(金)水戸市福祉ボランティア会館大研修室にてワークショップを行いました。

講師は、こどもTS(トラブルシューター)共同代表の深井敏行先生です。

先生は都内の特別支援学校校長先生を退任された後、保護司、少年院面接官、大学講師など多岐にわたってご活躍されています。風の子として以前に成人当事者向けワークショップとして具体的な困難場面でのロールプレイ指導をしていただいております。

以前とは社会背景がかなり変わり、障がい者が知らず知らずのうちに加害者になってしまったり、SNSに気軽に投稿した内容が拡散して大問題になったりという最近の状況を、実体験に基づいてお話いただきました。

学校、警察、弁護士、親の会等との連携を経て、障がい者支援ネットワークとなるTS活動の意義や必要性など、茨城でどのようにネットワークを作っていくか検討する必要を感じました。



今回、講演内でご紹介がありました、社会福祉法人南高愛隣会で作成した「暮らしのルールブック」を会員・賛助会員の方に同封いたします。ちょっとした行動がどのような犯罪になるのか、リスクがあるのか、イラスト等を駆使して紹介されています。